

大分県エネルギー産業企業会主催 カーボンニュートラルのための建築物省エネセミナー

令和5年2月10日に「GX実現に向けた基本方針」が国で閣議決定され、GXを加速させることで、エネルギー安定供給と脱炭素分野で新たな需要・市場を創出し、日本経済の産業競争力強化と経済成長につなげていくこととしています。その中で、住宅・建築物の抜本的な省エネを実現するため、今後10年で建築物省エネ法等による規制の対象範囲拡大・強化を実施していくことが掲げられており、当セミナーは県内事業者に対して、ZEBを含む建築物の省エネを促進することを目的として開催します。

◆日時：令和6年2月21日（水）14:00～16:00

◆場所：J:COM ホルトホール大分 408会議室
（大分県大分市金池南1丁目5-1）

◆参加方法：会場またはWEB

※WEB参加はZoomウェビナーで行います。

◆参加費：無料

◆申込み：下記URLまたは右記二次元コードからお申し込みください。

<https://ttzk.graffer.jp/pref-oita/smart-apply/surveys/3820884806781194114>

※申込期限は2月20日（火）17時までです。



<プログラム>

(1)「脱炭素社会の実現に向けて ～都市・建築のエネルギーを巡る動向と建築物での省エネルギーの実現手法～」14:00～15:30

講師：九州大学 大学院人間環境学研究院 都市・建築学部門
教授 住吉 大輔 氏



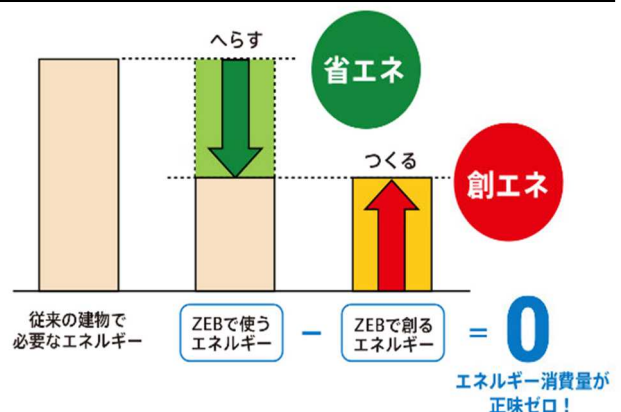
2006年九州大学人間環境学府空間システム専攻 博士後期課程 修了（博士（工学）を取得）。修了後、九州大学での学術研究員を経て、2008年に国立研究開発法人建築研究所の研究員となる。在任中は建築物省エネルギー基準のエネルギー計算法構築に取り組む。2010年に九州大学大学院人間環境学研究院に助教として着任し、2014年に准教授、2021年に教授となり現在に至る。専門分野は、建築環境・設備で、都市レベルでのエネルギー計算から人の行動変容まで幅広く建築エネルギーに関する研究に取り組んでいる。

(2)「清水建設の取組み事例紹介（仮称）」15:30～16:00

講師：清水建設株式会社 九州支店 設計部長 今井 宏 氏

OZEBとは

Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称で、「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。建物の中では人が活動しているため、エネルギー消費量を完全にゼロにすることはできませんが、省エネによって使うエネルギーをへらし、創エネによって使う分のエネルギーをつくることで、エネルギー消費量を正味（ネット）でゼロにすることができます。



※出典：環境省ホームページ <https://www.env.go.jp/earth/zeb/about/index.html>

【問い合わせ先】

大分県エネルギー産業企業会事務局 城井（大分県商工観光労働部新産業振興室内）

TEL：097-506-3263 E-mail：kii-kosuke@pref.oita.lg.jp